那珂川市プロジェクト＃3

「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」

那珂川市は、最寄り駅の九州新幹線「博多南駅」から博多駅までわずか約 8 分（330 円）という抜群のアクセスを誇ります。その一方で、南部の山間地域には川遊びが楽しめる「中ノ島公園」や五ケ山エリアに広がる自然豊かなキャンプ場などがあり、のびのびとした子育てができるベッドタウンとして親しまれています。

当市では、これからの地域を担う若い世代が「ここで子育てをしたい」と心から思える環境づくりを進めています。公園や子育て支援施設の整備をはじめ、子育て世代のリアルなニーズに寄り添った手厚い支援策を順次拡充しています。

【企業の皆様へ】

本事業へのご寄附は、単なる行政支援にとどまらず、地域社会の持続可能性を高め、未来の働く世代・ファミリー層を育てる「未来への投資」です。

SDGs 推進や CSR 活動の一環として、ぜひ私たちの取り組みにご賛同・ご支援をお願いいたします。

■ 主な取り組み内容

【こども医療費助成事業】

那珂川市では、福岡県が実施しているこども医療費助成事業について、令和 7 年 10 月より当市が単独で助成の対象を拡充。

これにより、通院・入院にかかる医療費の負担軽減を図り、子育てがしやすい環境を提供します。

●寄附金の活用●

　中学生の通院費用の無償化を実施し、長期化する物価高騰の影響を受けている子育て世帯の経済的な負担を軽減します。

【小学校校内サポートルーム整備事業費】

不登校対策を小学校の段階で早期に行うために、市内小学校にサポートルームを設置しています。

学校には行けるけれど、自分のクラスに入りづらい児童の学校内での居場所を確保し、不登校を未然に防止するとともに、不登校児童の登校復帰を支援します。

●寄附金の活用●

　誰ひとり取り残されない学びの保障に向けた取り組みを実施することで、不登校児童に対する多様な学びの支援体制を構築します。

【体験型英語学習推進事業】

様々な国の ALT（外国語指導助手）と対話して、実際に海外でやり取りされる表現を学ぶ体験型授業を実施しています。
●寄附金の活用●
生徒から「yes、no の単語会話から本格的な英会話へとレベルアップしていることが実感でき、自分の英語が通じてとても嬉しかった！」と喜びの声があがっています。
ネイティブスピーカーを相手に英語を使いこなす子どもたちは、将来必ずグローバル社会で活躍する人材になります。

【学校 ICT 教育環境整備事業】
各小中学校にタブレット端末の導入と Wi-Fi 環境の整備を行いました。ひとりひとりにタブレットを配布することで、生徒たちの学習意欲を実現。外部の専門家から直接アドバイスを受けられるなど、効率的に他者との意見交流ができたと大好評です。
●寄附金の活用●
新しい時代に求められる資質や能力を育てる学びに力をいれています！